

研修名	専門課程 船舶安全行政〔危険物輸送審査業務〕【隔年実施】 【集合】 (平成14年度～平成21年度まで「船舶安全行政事務」)					
目的・重点事項	<p>船舶による危険物海上輸送の安全審査業務を遂行する上で必要な専門的知識の修得と業務遂行能力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 危険物の船舶輸送に係る安全審査、危険物を収納する容器の検査、原子力及び原子力防災、核物質防護に関する専門知識の修得</p> <p>② 課題研究として、危険物海上輸送に関する事案について班別討議を行い、全体討議や質疑応答等による業務遂行能力の向上</p> <p>③ 実地見学及び実習により、危険物分析、試験業務、収納検査業務の現状理解</p>					
対象者	地方運輸局、神戸運輸監理部及び内閣府沖縄総合事務局に勤務する危険物業務担当課長、専門官及び係長又はこれと同等の職にある者					
定員(人)	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	11	1				12
研修期間	28.75時間 5日間			令和5年 5月15日(月)～ 令和5年 5月19日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(16.0)</p> <p>① 危険物輸送に関する基礎知識、危険物の船舶輸送に係る安全審査、放射性同位元素の基礎及び測定器の取り扱い(5.5)</p> <p>② 危険物を収納する容器の検査、危険物の判定評価の方法と解説、放射性輸送物核燃料物質等の安全輸送(6.0)</p> <p>③ 危険物輸送に関わる国際規則の動向特殊貨物輸送に関する基礎知識、特殊貨物運送・国際規則等の最新動向、放射性物質等の船舶輸送に係る安全審査、放射性輸送物の安全審査並びに核物質防護及び原子力防災(3.5)</p> <p>④ 講話(1.0)</p> <p>2. 課題研究(3.5) 事例研究(危険物審査業務に関する具体例について、班別研究を行う)</p> <p>3. 校外学習(7.5)</p> <p>① 危険物の分析・試験機関見学(日本海事検定協会理化学分析センター)</p> <p>② 危険物コンテナ収納検査現場見学・実習(内外トランス・ケミカル)</p> <p>4. その他(1.75) 入校式、修了式 オリエンテーション</p> <p style="text-align: right;">計 28.75</p>					
前年度からの 主な変更点						
担当	柏研修センター教務課(TEL: 04-7140-8777) 【募集・内容について】 海事局検査測定課(TEL: 03-5253-8639)					
備考	携行品「危険物船舶運送及び貯蔵規則」					